

令和7年度

事業計画書

公益財団法人立川市地域文化振興財団

目 次

基 本 方 針	1
定 款 事 業 別 体 系 図	2
事 業 区 分 別 事 業 計 画	3

基本方針

令和7年度は、立川市の第5次文化振興計画及び当財団の第3次中期経営計画の初年度となります。財団は与えられた役割に基づき着実に事業に取り組みながら、立川市との連携を強化し、立川市の第5次長期総合計画の未来ビジョン「魅力咲きほこり つどい華やぐまち 立川」を目指します。

立川市の学習館、生涯学習推進センター及び立川観光コンベンション協会などの各団体と連携し、調整を図りながら財団の役割を再認識し、立川市の文化振興を推進します。

財団の基本理念「市民が人や地域との絆を深め、笑顔あふれる心豊かな生活を送るために、私たちは文化芸術活動を広め・育て・支えます」に基づき、事業を積極的に進めます。

市民に優れた芸術に触れる機会を提供する「鑑賞事業」、市民が気軽に参加や体験することで文化芸術の普及を図る「普及事業」、若手アーティストや市民の文化活動を支援する「支援事業」、地域コミュニティの活性化を図る「地域コミュニティの活性化及び振興事業」等、それぞれに財団の長年の経験とネットワークを生かし、良質な事業を実施します。

職員には、芸術・文化に関する専門的な知識を深めながら、立川市との政策連携、市民や企業・大学など多様な主体との連携を推進できる総合的なスキルを備えた人材の育成に引き続き取り組みます。

事業の概要

1 文化芸術の鑑賞並びに活動の普及及び支援に関する事業

【鑑賞事業】クラシックジャンルでは、村治佳織&村治奏一姉弟のギター・デュオ・コンサート、多摩フレッシュ音楽コンサート優秀賞の吉原清香をソリストに迎えた日本フィルハーモニー交響楽団によるフレッシュ名曲コンサート、徳永二男の「作曲家の謎！」シリーズ、毎年好評の外山啓介ピアノリサイタル、硬派弦楽アンサンブル「石田組」などを、ポピュラージャンルでは奇想天外おもちゃの楽隊「ヒネモス」コンサートなどを開催します。演劇古典芸能では、立川出身の落語家立川寸志の真打昇進を記念した落語会、新春たちかわ寄席などを開催します。美術鑑賞では、引き続き小学校ファーレ立川アート鑑賞教室を実施します。

【普及事業】第33回となる「たちかわ演劇祭」は、特別ステージを作りより多くの団体が参加できる仕組みをつくります。また、引き続き市内小学校全19校に音楽鑑賞事業を実施するほか、落語やアート、ダンスのキャラバン事業を実施します。また、市民会館ロビーや地域で開催する「水曜コンサート」「どこでもステージ」など文化芸術の普及活動を実施します。

【支援事業】2日間で200組以上の奏者が参加し市内各所で開催する「第14回立川いったい音楽まつり2025」の新体制での活動を支えます。また立川市の文化資産である「ファーレ立川アート」の保全・普及活動を支援します。

【広報宣伝・友の会事業】様々な情報ツールを活用し、財団や市民の文化芸術活動の情報を効果的に発信します。

2 地域コミュニティの活性化及び振興に関する事業

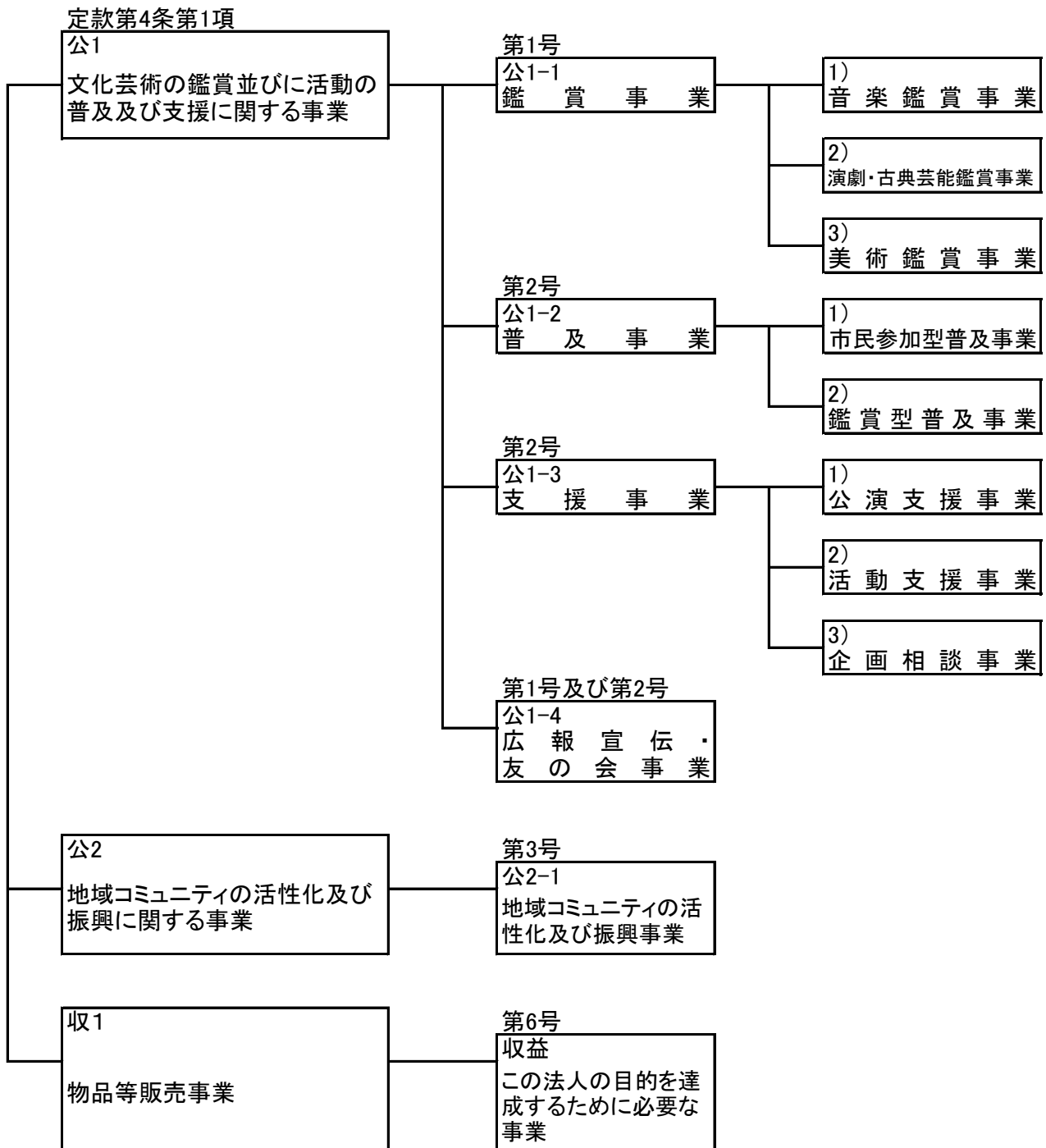
- ・「第37回立川よいと祭り」「たちかわ楽市2025」の協働事務局を引き続き担当します。
- ・「たちかわワークショップフェスタ2025」では音楽・クラフト・ダンスなど多くのワークショップを実施します。

3 人材育成の強化と、法令等に基づく的確な法人運営

- ・全国公立文化施設協会等の研修へ積極的に参加するほか、eラーニングや大学の公開講座などの外部研修に参加する制度を継続実施します。
- ・公益法人制度改革と新公益法人会計基準への理解を深め、的確な組織運営に努めます。
- ・文化芸術に関する情報収集と発信に努め、市民から信頼される財団を目指します。

令和7年度

定 款 事 業 別 体 系 図



事業区分別事業計画

注1) 予算額は費用を記載

注2) 実施場所の大・小ホール、展示室、サブホール、市民ロビーは、たましんRISURUホール内施設

1 文化芸術の鑑賞並びに活動の普及及び支援に関する事業

公1-1 鑑賞事業（定款第4条第1項 第1号）【公益目的事業】

1)音楽鑑賞事業		予 算 額	
		19,505 千円	
事業概要	多くの市民が心のやすらぎと明日への活力を得られるよう、様々な事業を実施していく。 ●クラシックジャンルでは、日本を代表する姉弟ギター・デュオ、村治佳織と村治奏一を迎え、コンサートを開催するほか、人気ピアニストの外山啓介によるリサイタルを、開催月と会場を変更して実施する。 ●フレッシュ名曲コンサートは、多摩フレッシュ音楽コンサート2011優秀賞、第20回東京音楽コンクールピアノ部門 第3位を受賞したピアニスト・吉原清香を迎え、日本フィルハーモニー交響楽団とのショパンのピアノ協奏曲第1番を演奏する。 ●共同主催事業としては、9月にネクスト・クリエイション・プログラム「チームアップ！オペラ」を、1月に硬派弦楽アンサンブル「石田組」を開催する。 ●小ホール公演では、人気シリーズの「作曲家の謎」を年4回（vol.15～18）を開催する。 ●ポピュラージャンルでは、女性総合センターアイムホールで共同主催としてやぎりんカルテットを開催する。 ●奇想天外おもちゃの楽隊『ヒネモス』～音楽をめぐる旅～は、新規事業として取り組み、メンバー10人を擁する大迫力な楽団 ヒネモスをとりわけ子どもや親子連れの方たちに提供する。		
令和7(2025)年度の予定			
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
クラシックジャンル(主催)		14回	
村治佳織 & 村治奏一ギター・デュオ・コンサート	4月19日		大ホール
フレッシュ名曲コンサート事前キャンペーン	9月4日		小ホール
吉原清香ピアノ・プレコンサート			
フレッシュ名曲コンサート	10月4日		大ホール
日本フィルハーモニー交響楽団演奏会			
ネクスト・クリエイション・プログラム			
「チームアップ！オペラ」※	9月15日		大ホール
外山啓介ピアノ・リサイタル	12月14日		大ホール
硬派弦楽アンサンブル「石田組」※	1月31日		
国立音楽大学コンサート	3月30日		大ホール
徳永二男「作曲家の謎！シリーズ」(全4回)	6月7日・9月13日 12月6日・3月7日		小ホール
ポピュラージャンル(主催)			
やぎりんカルテット ケルティカ×デュエット※	7月6日		アイムホール
奇想天外おもちゃの楽隊『ヒネモス』～音楽をめぐる旅～	9月21日		大ホール
君島大空 トリオ※	3月		大ホール
※は共同主催事業			

2)演劇・古典芸能鑑賞事業		予 算 額		
		7,102 千円		
事業概要	ミュージカルや伝統芸能など、幅広い年代で多くの方が鑑賞できる事業を実施する。			
	●劇団東少の子ども向けミュージカルは、『グリム童話』名作の「白雪姫」を上演する。 ●スターダンサーズバレエによるリラックスパフォーマンスを共同主催にて実施する。 ●立川出身の落語家の立川寸志の真打昇進(予定)を記念した落語会を開催する。 ●新春たちかわ寄席は、イベントと共同主催で取り組み、話題や旬の落語家を軸に幅広い年代の方に新春の初笑いを提供する。 ●笑ホール寄席は、人気・実力を兼ね備えた出演者による二人会等を年3回開催する。 ●能や狂言、講談などの伝統芸能の実施を検討する。			
令和7(2025)年度の予定				
内 容		実 施 日	実施回数	実 施 場 所
演劇舞踊ミュージカル等(主催)			8回	
劇団東少「白雪姫」※		5月10日		大ホール
スターダンサーズバレエ「リラックスパフォーマンス」※		1月25日		大ホール
古典芸能等(主催)				
立川寸志 昇進カウントダウン企画※		12月7日		小ホール
新春たちかわ寄席※		1月		大ホール
笑ホール寄席(3回)		6月20日・10月・2月		小ホール
伝統芸能事業		未定		大ホール
※は共同主催事業				

3)美術鑑賞事業		予 算 額	
		1,760 千円	
事業概要	音楽や舞台芸術と同じく、優れた美術作品を鑑賞することは市民の文化芸術活動を促進する重要な要素と捉え、その機会づくりの事業を実施する。 ●東京都内の美術館・博物館等にて、展覧会の学芸員によるレクチャーを受け理解を深めながら鑑賞する現地集合・解散型のツアーを定期的に開催する。 ●小学校ファーレ立川アート鑑賞教室では、市の芸術作品であるファーレ立川アートを身近に触れ、親しんでもらい、街の魅力を感じる機会を立川市の小学5年生に提供する。 ●歴史画家として立川で絵筆を執った邨田丹陵に焦点をあて、地域資産の活用とアーバンツーリズムに関連した「邨田丹陵」の調査研究などを行う。		
令和7(2025)年度の予定			
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
美術鑑賞事業	通年	3回	都内美術館・博物館等
小学校ファーレ立川アート鑑賞教室	通年	19回	ファーレ立川
邨田丹陵に関する調査研究	通年	-	
※は共同主催事業			

公1-2 普及事業（定款第4条第1項 第2号）【公益目的事業】

1)市民参加型普及事業		予 算 額		
		1,432 千円		
事業概要	展示及び公演等に市民が参加できる事業として、絵画・演劇・吹奏楽のジャンルで実施する。			
	●「たちかわアートギャラリー展」は、はがきサイズの作品から受け付け、初心者でも応募しやすい環境作りを行うとともに、若年層への顕彰としてU25賞を設け応募を呼びかける。 ●「たちかわ演劇祭」は、実行委員会で運営し、演劇、ミュージカル、オペラ等の団体が参加する。 ●国立音楽大学の学生を講師とした「小学生吹奏楽クリニック」を通年で実施する。 ●自衛隊音楽隊を講師とした「中学生吹奏楽クリニック」を実施する。			
令和7(2025)年度の予定				
内 容		実 施 日	実施回数	実 施 場 所
第31回たちかわアートギャラリー展		5月17日～25日	1回	展示室・サブホール
第31回たちかわアートギャラリー展入賞者記念展		5月27日～6月3日	1回	市役所多目的プラザ
第33回たちかわ演劇祭		8月	16回程度	小ホール
小学生吹奏楽クリニック		通年	5回程度	市内小学校
中学生吹奏楽クリニック		4月20日	1回	市内中学校

2)鑑賞型普及事業		予 算 額		
		7,605 千円		
事業概要	子どもたちに広く平等に芸術に触れる機会を提供するため、立川市内の小学校への訪問事業を継続する。また、遠出しづらい方や幼い子ども達に、地域学習館や学習等供用施設、福祉施設などでコンサートなどを実施することにより文化芸術を身近に感じていただく機会を増やす。			
	●子どもたちの心豊かな情操を育む「小学校演劇鑑賞事業」は、立川市教育委員会と連携し、引き続き親子で楽しめる演劇鑑賞の機会を提供する。			
	●「水曜コンサート」はアーティストの発表の場としても開催し、継続して市民の鑑賞機会の提供に取り組む。			
	●「どこでもステージ」は、立川市内各所でとりわけ高齢者に癒しの時間と文化芸術に触れる機会を提供する。			
	●「学校訪問事業」は、音楽、落語、アート、ダンスを提供する。音楽においては、小学校音楽鑑賞事業として立川市教育委員会と連携し、音楽家を派遣し実施する。			
●「国立音楽大学アイムコンサート」は学生支援を目的として、国立音楽大学と協力して実施する。				
令和7(2025)年度の予定				
内 容		実 施 日	実施回数	実 施 場 所
小学校演劇鑑賞事業		10月19日	1回	大ホール
水曜コンサート		月1回水曜日	12回	市民ロビー
どこでもステージ		通年	5回程度	市内学習館・ 学習等供用施設等
学校訪問事業「音楽・落語・アート・ダンスキャラバン」		通年	40回程度	市内小学校
国立音楽大学アイムコンサート		通年	4回程度	アイムホール

公1-3 支援事業（定款第4条第1項 第2号）【公益目的事業】

1)公演支援事業		予 算 額		
		1,093 千円		
事業概要	市民や若手アーティストの多様な文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術の育つ環境づくりを図る。 ●「立川いったい音楽まつり」は市民と協働し、実行委員会形式で運営する。 ●「市民団体共催・後援」は、公演やイベント開催を広報活動などで支援する。 ●東京多摩公立文化施設協議会の主催で実施する「多摩フレッシュ音楽コンサート」の事務局を担い、「声楽部門」を開催する。 ●「アーティスト支援」は、多摩フレッシュ音楽コンサート入賞者のリサイタルや自主公演を支援するほか、国立音楽大学の学生によるアイムコンサートの開催等を支援する。			
令和7(2025)年度の予定				
内 容		実 施 日	実施回数	実 施 場 所
第14回立川いったい音楽まつり2025		5月17日・18日	1回	市内各所
市民団体共催・後援		通年	—	大・小ホールほか
多摩フレッシュ音楽コンサート「声楽部門」		4月17日(予選) 7月17日(本選)	1回	大ホール
アーティスト支援事業		通年	5回程度	小ホール・アイムホールほか

2)活動支援事業		予 算 額		
		— 千円		
事業概要	市民や立川市を構成団体とする団体が行う多様な文化芸術活動を支援する。 ●立川文化芸術のまちづくり協議会が行う事業を通じて、不特定多数の市民の文化芸術活動を支援する。 ●立川の文化的資産であるファーレ立川アートの維持管理を行うファーレ立川アート管理委員会の活動を支援する。 ●立川市内での質の高い演劇作品・演劇空間の創造と発信、人材の育成を目指し結成された「立川シアタープロジェクト」の活動を支援する。			
令和7(2025)年度の予定				
内 容		実 施 日	実施回数	実 施 場 所
立川文化芸術のまちづくり協議会		通年	—	
ファーレ立川アート管理委員会		通年	—	
立川シアタープロジェクト実行委員会		通年	—	

3)企画相談事業		予 算 額	
		6,296 千円	
事業概要	立川市から受託し、出演者の提案及び公演を実施する。 ●立川市主催事業の「高齢者のつどい」はステージ公演について、参加者が楽しめる企画を提案、実施する。会場は、たましんRISURUホールで4回公演を行う。		
令和7(2025)年度の予定			
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
高齢者のつどい	10月7日・8日	4回	大ホール

公1-4（定款第4条第1項 第1・2号）【公益目的事業】

広報宣伝・友の会事業		予 算 額	
		16,669 千円	
事業概要	「わかりやすく、丁寧に」を意識しながら、広報宣伝や友の会制度により財団事業の周知を充実させ、来場者の増加を図る。 ●情報紙「ムーサ」は、文化芸術の価値を伝えていく紙媒体の手段の一つとして発行する。新聞折込配布については、購入者情報を元に、配布対象地域を毎号変更していく。広告受注は、掲載枠数を増やし、多くの広告主の要望に応じ、広告料収入の増額を図る。 ●「ホームページ」は、見やすさ、伝えやすさを感じられる投稿をリアルタイムで行っていく。 ●「SNS」については、XやFacebookによる情報の拡散を図るとともに、Instagram(インスタグラム)やLINEの活用を図る。 ●「ムーサ友の会」については、インターネットによる入会及びチケット購入の利便性をPRし、会員及び来場者の増加に努める。 ●「市内広報掲示板」は、市民への周知方法の一つとして適正な管理運営を行う。		
令和7(2025)年度の予定			
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
情報紙「ムーサ」	隔月(奇数月)	6回	市内及び周辺市町村
財団ホームページ・SNS運用	通年	—	—
ムーサ友の会	通年	—	—
市内広報掲示板	通年	—	—

2 地域コミュニティの活性化及び振興に関する事業
公2-1（定款第4条第1項 第3号）【公益目的事業】

地域コミュニティの活性化及び振興事業		予 算 額		
		597 千円		
事業概要	イベントや表彰などを通して、人と人を結ぶコミュニティ事業に積極的に取り組む。			
	●「第37回立川よいと祭り」は、秋季大型イベントとして実行委員会で検討を重ねていく。			
	●「たちかわ楽市2025」は、出店料の見直しやイベント内容の適正化を図ることで収益性を高めながら、実行委員会で運営のあり方を検討していく。			
	●「新春子ども凧あげ大会」は子ども会連合会との連携事業として、子どもたちが日本の正月の風物詩に触れるとともにコミュニティ形成の場として開催できるよう検討を続ける。プレスリリースを積極的に活用することで、開催前と開催後もPRできるようにしていく。			
	●「コミュニティ奨励賞」は、文化芸術での顕著な成績や地域貢献活動に対し、その個人や団体を表彰し市民の関心を深めるとともに、地域活動の活性化を図る。			
	●「たちかわワークショップフェスタ2025」は、講師を公募し、音楽・クラフト・ダンスなどの企画を提案してもらい、参加者を募る。			
	●「キッズワークショップ」は、子どもたちや保護者などの心の解放を行い、文化芸術への関心を深めるため、様々な内容で開催する。東京文化会館とのミュージックワークショップやアーツカウンシル東京とのキッズ伝統芸能など各団体との連携したプログラムを実施する。			
令和7(2025)年度の予定				
内 容		実 施 日	実施回数	実 施 場 所
第37回立川よいと祭り		10月12日	1回	サンサンロード
たちかわ楽市2025		11月8日・9日	1回	国営昭和記念公園
新春子ども凧あげ大会		1月10日	1回	多摩川河川敷市民運動場
コミュニティ奨励賞		3月(表彰式)	1回	会議室
たちかわワークショップフェスタ2025		12月21日	1回	展示室、サブホール ほか
キッズワークショップ		通年	5回程度	展示室、サブホール ほか

3 物品等販売事業

（定款第4条第1項 第6号）【収益事業】

この法人の目的を達成するために必要な事業		予 算 額	
		一 千円	
事業概要	出演者等が公演開催時に、CDやグッズ等の公演関連商品を販売した際、物品販売手数料を徴収する。		
令和7(2025)年度の予定			
内 容		実施時期	実 施 場 所
CD等物品販売		通年	大・小ホール・サブホール アイムホールほか